

日々の

暮らしに

香川芳子 香川栄養学園学園長 え／目黒雅也



屋根の上の『本の虫』

紫陽花あじさいの美しい季節になりました。散歩に出かけるとき、ご近所の植え込みなどをながめながら、その移りゆく彩りや姿を楽しんでいます。3月末に女子栄養大学学長職を退任し、自由の身になりました。これでひと息つけます。紫陽花といえばカタツムリです。海にいる巻き貝と同じ仲間ですが、殻（隠れ家）を背負っているから安心です。危険が迫ったら殻に入り込んでしまえばいいのですからカタツムリはいいなあと思います。そういえば子どものころ、私は『本の虫』といえるほど本を読むのが大好きでした。小学校の教室にある本はすぐに読み終えてしまいました。家では敷地内にあった蔵に入り込んで、棚にある本や雑誌を片っ端から読んでいました。当時の本は全部読み仮名がふつてありますから、意味はわからなくても読むことはできました。文字を追ってひたすら読むのが楽しかったのです。日本文学全集なども全巻読破しました。蔵の2階の窓からひよいと屋根に出てそこで読みふけることもしばしば。だれにもじゃまされない私だけの秘密の場所です。下から母・綾に呼ばれても私の姿は見えません。楽しい子どものころの思い出です。